

1. ワークショップの概要

第1回は菩提寺で、菩提寺まちづくり協議会主催の歴史講座と合同開催。講座終了後にグループワークを実施し、「菩提寺らしい」文化財について意見交換を行った。

日 時：令和7年7月13日（日）午後3時30分～午後4時30分

会 場：菩提寺まちづくりセンター

参加者：一般参加者12名、湖南省商工観光労政課4名

2. 内容

①地域に伝わる文化財

伝統行事（サンヤレ祭り・花まつり） 史跡（石多宝塔や三体地藏・閻魔像）

社寺（西應寺・正念寺・八王寺神社・斎神社など）

遺跡（竜王山古墳・坂上田村麻呂関係※）

菩提寺山関連（龍王社・歴史の小路・霧降の滝など）

父の^{かりたまろ}菟田麻呂、祖父の^{いぬかい}犬養の
墳墓があったと伝わる。

②後世に伝えていく上での課題

・担い手不足

行事の存続、有形文化財の管理ともに問題。少子高齢化のため継いでいく者がいない。大人も祭りを知らない、意義を理解していないことも。

・物理的な管理の問題

寺社や多宝塔、石仏など有形文化財については劣化や破損のおそれ。管理に費用がかかる、後継者不在など。

③課題の解決に向けて

・資料室の活用、歴史公園作成など PR を充実させる。県教育委員会に協力を仰ぐなど外部の力もバランスよく借りられればよい。

・記憶の風化を防ぐ（周知・教育）…予算や人手を増やして調査を行い適切な記録を残す。地域では供養祭（役員が史跡等を廻る）があり、住民への周知を続ける。小学生に地域の歴史を教える。

・若者への引継ぎのためには上の世代の意識改革も必要。菩提寺区だけの閉じた行事ではなく、どの学区区からも参加できるようにしては。

湖南省文化財講座「地域の魅力再発見！まち歩き・ワークショップ」開催結果

3. まとめ

今回の意見交換では、伝統の祭りや仏教文化に関わるものが多く挙げられた。菩提寺区はまちづくり協議会の活動や小学校での地域学習が盛んで、歴史文化を継いでいく土壌自体はあるが、それでも担い手の不足は大きな課題となっている。

行事についてはよりオープンにすることでまずは存続を図るとの意見が挙げられたほか、多宝塔や寺院などは学術的価値を正しく把握した上で内外に広く周知することが必要となる。外部団体に協力を仰ぐことも視野に入れつつ、地元と行政で連携して手を打っていきたい。



グループワーク説明



グループワーク作業